

History of life 住まいの歴史

うさぎ小屋ならぬ「ウサギの家」の考察。

「ゴルフは、穴ウサギの家から生まれろ。」

ウサギの種類は大きくわけて野ウサギと穴ウサギという2種類。地面を歩く掘って、地表すれすれのところ体が隠れるようにするだけの野ウサギは「住まい」と呼べるような実は持ちませんが、穴ウサギの方はその名の通り地面に無数の穴をあけ、かなり大掛かりな迷路のような家をつくることで有名です。ウサギにとっては災害ですがゴルフは「羊飼いが杖を使ってボールを穴に入れる遊びをしたのが起源」と

いわれ、ゴルフの穴も実は穴ウサギの巣穴だったのです。

迷路のようなくトンネル住宅

「うさぎ小屋」というかつての日本住宅のことですが、本物のうさぎの家は、意外と住みやすいようでもあります。なかでも穴ウサギは「トンネル」と言われるトンネル型共同住宅に住んでいます。入口の穴は直径15センチくらいと小さいのですが、トンネルは幾重にも分岐していて無

ウサギさんにもよく似てるんだな。



すまいdeスマイル 11年8月号

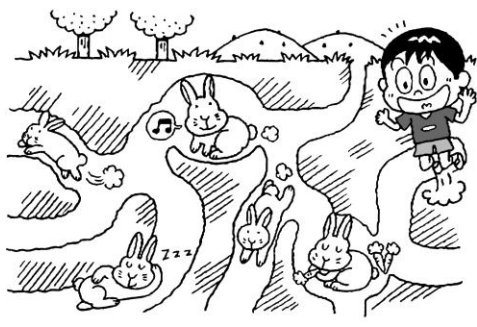
発行所 FİNTEC新聞 編集部 福岡市東区多の津 5-20-1

Vol.19 新 フィンテック newspaper '11 August 新聞

トコロインド 世界一高価な住宅... 手企業リライアン ス・インダストリー... 高層高価高級... トコロインド

ちの5人。建物内には駐車場が6フロア、プール、映画館がある。一階には寺院、最上階には図書館まで完備されています。しかも、建物の管理のために600人のスタッフが必要だといふから庶民には想像もつきません。その新築パーティーに出陣した作家のショバ・デ氏によれば、これはもう21世紀

のタージマール。ペルサイユ宮殿でさえ震んで見えるほどのこと。ちなみに米誌フォーブスによると、アマバニ氏の総資産額はなんと270億ドル(約2兆3千億円)に上るといわれています。



最もいい部屋はオスの第一夫人専用 穴ウサギは一夫多妻制を基本に集団で暮らしています。その典型的な開きを紹介いたします。直径15センチの小さな玄関を入るとしばらく狭い廊下が続き、ちよつと広めの廊下が現れます。ここは穴ウサギ同志がすれ違うための交差点のな踊り場です。さらに

豊田町道の駅「蛭」 回数券もオスです。また毎月恒例に開催している西ノ市では、景品付き餅まきやワンコイン温泉(500円)などいろいろイベントが盛りだくさんで、毎回大勢の人で賑わっています。もちろん、豊田ならではの新鮮な野菜や地元の特産品に出会える直売所や旬な食材を提供するレストラン、本格的なパンや自然にふりアイスクリームを楽しめる喫茶等、人氣の施設が充実の施設です。「蛭街道」と名付けられ

九州の道の駅 コンシェルジュ 山口県 蛭街道西ノ市 蛭の里の道の駅です。 蛭の里の道の駅です。 蛭の里の道の駅です。

グリーンインテリアのすすめ 観葉植物などのグリーンを部屋にインテリヤとして楽しむことをグリーン・インテリアと呼びます。グリーン・インテリアが他のインテリア小物と大きく違う点は、植物は日々変化し、成長しています。それぞれ個性的な性質を持っていて、乾燥に強いもの、弱いもの、寒さに強いもの、直射日光は苦手なもの、いろいろです。その植物の持つ

編集後記 今月の新聞はいかでしたか? 2か月に一度発刊するフィンテック新聞は次回は10月の発刊を予定しております。次回もこうご期待ください 編集長

九州・山口の姉妹都市・友好都市 大川市とポリデノーネ市 (イタリア) 大川市とイタリアのポリデノーネ市は昭和62年(1987年)、同じ家具産業が取り持つ縁で姉妹都市関係結びました。そんなポリデノーネをイメージして大川市内に作られた商業施設がウイラ・ベルデです。パティオ(中庭)のモザイクづくりにポリデノーネから招いた職人さんが参加するなど、「南欧の香りがする街」を施設づくりの基本コンセプトにしたこだわりが息づいています。 また姉妹都市締結20周年を迎えた平成19年(2007年)には、ポリデノーネの文化や歴史の紹介をはじめとして、スローライフをテーマにした音楽と食のイベントが開催され、大いに盛り上がりました。

